

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 20日		～ 2026年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年 2月 19日		～ 2026年 3月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型事業所として未就学児～高校生までの異なる年齢のお子様と同じ時間に同じ活動をする中で、幅広い年代のお子様同士でのコミュニケーションの機会がある。	同じ活動の中でも、個々に難易度を変えたり、複数人で行う場合はあえて変えずに関わりを持てる機会を設けている。また、遊びに混ざれるよう職員が間に入って誘いがけを行っている。	より積極的にコミュニケーションを図っていきやすいような活動となるように、継続して集団活動の内容検討を行っていく。
2	生きていくうえで必要になってくる「お金」について、子どもの内から楽しく学べるように【マネープログラム】を取り入れている。	個別活動として、個別の課題を「おしごと」としてやっていただき、出来たものに対して【ドアーリーマネー】という独自の通貨を給与としてお渡しし、貯まったお金でお買い物出来る仕組み作り。	「おしごと」内容の検討（児童にあったプリント内容）。積極的に、かつ楽しんで取り組んでもらえるような【ドアーリー商店】のラインナップの検討。
3	職員の支援の質向上のための研修。	長期休暇など午前中での対応が難しい場合を除く、毎週月曜日の定例ミーティング（研修）	引き続き支援について向上していけるように研修の継続や、支援のみではなく、送迎サービスがあるため交通ルール改正についても取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業安定のための職員増員。	人材確保において、現状確保が出来ていない。	随時募集をかけて職員が確保できるように努める。
2	地域との交流。	月に一度、地域との交流を目的の一つとした特別プログラムを実施しているが、直接的に児童が地域（住民等）と交流しているかと言われると難しいと感じる。	イベントへの参加や出店などの機会を設けられるよう検討していく。また、他事業所との交流も検討していく。
3	保護者間のコミュニケーションの場。	月に一度、保護者様参加型の特別プログラムを実施しているが、こちらから関わりを促している訳ではないため「交流会」のような意見交換出来る場が必要と感じる。	今年度開催した「からだの勉強会」のように保護者様のみで話が出来るような場づくりを検討していく。